

ラスのホームルーム委員 体験した富山県民ならで 力を呼び掛けた。 先生方、職員の方々に協 の協力を得て全校生徒や 9円もの善意が寄せられ ったが、合計10万787 に満たない短い期間であ 会執行部が発案し、 たい」との思いから、 に、「わずかでも力になり た能登半島の復興 地震や津波を実際に 1週間 0 各ク 生徒

R5町内版 第2号

発行:^{富山県立}入善高等学校 放送広報部

電話(0765)72-1145 ホームページ

http://www.nyuzen-h.tym.ed.jp/

より多くの生徒に募金 んは「この活動を通して、



km は

た募金を入善町役場に持 込む予定となっており、 への熱い思いを形に 日には集まっ



ボランティア活動な 今後は募金だけでな

ため

大切さを知ってもらいた の関心と地域に貢献する いきたい。」と話してくれ どにも積極的に参加して

一彼方にある能登半島被の団結力を発揮し、50

ち 災地 することができた。 2 月 26

10 月31日 (火)、「水

の小径」で、

本

品位・品格のことを指 な困難に立ち向かって 協同」と合わせて様々 につけた「勤労・責任・ のことです。本校で身 訓にある「礼儀と品位 しています。まさに校 の内面からにじみ出る 姿勢、所作などその人 ているのではなく、 話し方、

未知の世界に向かっ 守られた環境を後に 思います。これまでの 複雑な心境のことと 寂しさが入り交じる

て自らの足で歩み出

を願っています。 皆さんの幸せ れた。 準備が進めら る『花いっぱい 校一年生が花壇 の景観を良くす に花を植えて街 大作戦』が行わ

週間前,

から

に恵まれたこと 調に進められ もあり作業は 班ごとに決め 当日は天候

旅立ちの日を迎えまし わたる学校生活からの

目の前が開けるよ

とは服装や髪型など

た。この「見た目」

いう本が流行りま

高揚感の

表

面的なことを言

本日、

小中高12年に

して下さい。

かつて

人は見た目が9割

川県に届けられる。 最終的には入善町 生徒会執行部の川 か 5

配置や配色を工夫されて を植えた。 に一人ひとりが丁寧に苗 れた花壇に班長を中心 班ごとに花の

(放送広報部

才津)



進むご 花壇が になっ 鮮やか とに色

印象的だった。 とても

礼儀と品位

方、

かすかな不安、

校長

川原篤志

影を行った。皆の笑顔と 達成感を得ることができ 綺麗な花が輝き、 を囲んで班ごとに記念撮 最後に、完成した花壇 (放送広報部 大きな



自然科学コ

【立山研修】

弥陀ヶ原周辺を散策し、自 師の方とともに、午前中は カルデラ砂防博物館の講 員参加の行事とした。立山 自然科学コース2年生全 研修を行った。今年度から 塘の水質調査を行った。 聞きながら、気象観測や する植物や岩石の説明



存する岩石の種類などを く見られる高山植物や、 散策を行った。 登山道に多 残

8月18日(金)に、立山

室堂平周辺の



知った。 中の芍薬が富山県産だと れていることを紹介して 品など多くの分野に使わ 代謝産物は、医薬品や化粧 聞くことができた。 していただいた。特に入善 ついて、 、ただいた。身近な飲料の 2謝産物について詳しく 特産のチューリップの わかりやすく説明 また、

深めることができた。 観察した。自然への理解を

【クリスマスレクチャー】

いた。 村泰治教授をお招きして、 県立大学生物工学科の野 植物は化学工場である」 題して講義していただ 12月14日(木)に、富山

植 物が作る代謝産物に

> れた。 課題研究発表 後の課題 研究に役立 コスモ カュ

農業科

が自分たちで設定したテ の特産品の研究栽培を行 は令和元年度に始まり、町 た。「NEW農チャレンジ」 スライドを用いて発表し 究してきた内容について 題研究会が行われた。各班 レンジ」報告会・農業科課 ホールにて「NEW農チャ マに沿って約2年間研 1月19日(金)、



ーリップのピントレイ栽培に関する研究」 「チュ・

NEW農チャレンジ

リップの生産性向上に向 ンボ西瓜の観賞用の四角 名度アップへのPR けた試験栽培【写真】や いスイカづくりやチュー なる報告会では、入善ジャ っている。今年で5回目と 活



課題研究発表「富富富の栽培と加工について」

皆さんをお招きして、 校に椚山獅子舞保存会の

今年

キュンチョメさんの展覧

部市美術館を訪問

して

会を見学した。生徒たちは、

野で計6つの発表を行っ 野菜・草花・バイオの各分 題研究発表会では、 について発表した。 。また課 作物・

張しつつも3年生らしい 臨んだ。当日、生徒らは緊 の作成や発表練習に多く 行い、充実した発表会とな 堂々とした態度で発表を 時間を費やし、発表会に 3 年生は発表スライド

【アートツーリズムフィールドワーク

月より観光ビジネス

10月19日(木)、

11 月

味関心に基づいて独自のテ コースでは、生徒自身が興

マを設定し、調査を行う



ワークを行った。10月 トツーリズムフィールド 術館の協力のもとでアー 2日(木)両日、黒部市美

19

地

黒部市美術館で展覧会

チョメさんをお呼びして、 中の作家ユニット、キュン

獅子舞フィールドワーク 10 月 5 日 (木)、 入善高

ップ「記憶のアイスクリー

11月2日には

ての講演とワークショ

ティストの視点につ

に感謝申し上げます。 目標である。皆様のご協力 分の言葉で描き出すことが 域の姿を生徒たち自身が自 を町内外で行っている。 フィールドワークリサーチ 子だった。 ただいた。生徒たちは、 度も獅子舞フィー ゲドワ

や獅子頭に興味津々の様 かなか触れられない衣装 に、舞の体験等をさせてい 学させていただくととも は、勇壮な椚山獅子舞を見 -クを実施した。 生徒たち

な アイスクリームを交換 ついて想像した。 し、幸せな時間とは何かに るワークショップを体 アイスクリー 「フィールドワークリサーチ」

- ムの記憶

憶と

す

お酒をふるまう(ふりをする)天狗 「お酒は二十歳になってから」

"あなたの幸せとは…?"

-クショップ「記憶のアイスクリーム」